

竹の車いす 空の旅スムーズ



▼▼▼ 空港の金属探知機をクリア

竹製の車いすを試乗する赤星憲広さん
＝21日午前、羽田空港、遠藤啓生撮影

し、発表会があった。

通常の車いすは、ブレーキや車輪などに金属部品が使われており、空港で利用者は、金属物を身につけていなくても必ずボディチェックを受けていた。そこで、車いす利用者の負担を減らそうと、産総研とJAL、工房「サン創ing」（大分県日出町）が、4年かけて竹製の車いすを完成させた。竹製ならスムーズに搭乗口に向かうことが可能という。竹製車いすは1月から大分空港に1台、2月から羽田空港国内線に2台が配備され、JALグループの利用客に貸し出しされる予定だ。

現役時代から車いすの寄贈を続けている赤星さんは「竹製は、家庭のいすのように、温かみがあって、座り心地もよかった。増えて親しまれるようになればうれしい」と話した。

（中村浩彦）

空港の金属探知機に反応しない竹製の車いすを、産業技術総合研究所（茨城県つくば市）や日本航空などが

開発した。羽田空港で21日午前、空港への配備に協力する元阪神タイガース外野手の赤星憲広さんも参加